

新たな助産ケア提供体制の構築推進会議 2026

6月5日(金) 13:30~15:30

オンライン

参加無料!

少子化に伴う分娩取扱施設の減少等により、妊産婦の出産環境や助産師の働く環境は大きく変化しています。

日本看護協会では2026年度から将来の周産期医療の課題を見据えた持続可能な助産ケア提供体制の構築を目指して取り組んでいます。

関係者の皆様には、オープンシステムや助産師出向、ICT等を活用した地域の助産ケア提供体制を構築の必要性等についてご理解いただきたく、情報提供の機会を設けました。ぜひご参加ください。

講演内容

周産期医療を取り巻く現状と今後の展望

山崎 翔氏 (厚生労働省 医政局地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室 室長)

13:35~13:55

地域における助産師の新たな活動拠点モデル(案)のあり方について

井本 寛子 (日本看護協会 常任理事)

13:55~14:15

助産師の更なる役割発揮とオープンシステムの可能性

秋葉 志帆氏 (隷三方原病院看護課長)

14:15~14:30

高知県の実情と助産師への期待

林 和俊氏 (高知医療センター 院長)

14:30~14:50

安心・安全な周産期医療提供体制の整備に向けた都道府県看護協会の取り組み

八田 冷子氏 (鹿児島県看護協会 会長)

14:50~15:10

参加対象

- ・総合周産期医療センターの看護管理者
- ・都道府県職能委員長(助産師・保健師・看護師I-病院領域-)など

申込はこちら!

申込メ切
~6/5 10:00

申込専用フォーム



https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_EasAsTL01jcSQi02BYw#/registration

みんなで考えよう
未来のこと



公益社団法人 日本看護協会

担当部署：健康政策部

お問合せ先：chiikihokatsu@nurse.or.jp